

「どだなだ」…お互いの仕事の様子や子どもたちの状況を気軽に聞き合い
業務の分担や平準化、支え合える職場環境にしましょう。

実効的な学校閉庁日の実施に向けて

先生も夏休み取って！

働き方改革、文科省通知

教員の働き方改革での
市区町村の取り組み

学校閉庁日の設定	60.4%	※文科省調査へ、複数回答
正規勤務時間の適正な割り振り	45.1%	
勤務時間外の留守番電話設置やメール連絡体制整備	11.7%	
PTAへの協力要請	15.8%	
特に取り組んでない	15.9%	
その他	6.5%	

学校の先生も夏休みをしっかりと取って。文科省は13日までに、夏休み期間中に長期間の学校閉庁日を設けるなどとして教員の休日確保するよう、全国の都道府県教育委員会などに通知した。合わせて、夏休みに研修などを積極的に行うよう求めた過去の通知を廃止する異例の措置も実施し、長時間労働が深刻な教員の働き方改革を進めたい考えだ。

通知は6月28日付。業務量を削減し、夏休み期間中にまとまった休日を取れるようにすることが「教職の魅力を高めるためにも必要」と指摘している。

学校閉庁日を推進 ■ 研修充実方針は廃止

7/14 山形新聞より（共同通信社配信）

「学校における働き方改革の推進に向けた夏季等の長期休業期間における学校の業務の適正化等について（通知）」～文科省（6月28日付）～

◆概要（通知の写しは令和元年7月5日付で発出の 教職第211号 をご確認ください）

教師が確実に休日確保できるようにする観点から・・・

① 学校閉庁日

⇒ 長期休業期間における一定期間の学校閉庁日の設定などの工夫を行う。

② 研 修

⇒ 夏季等の長期休業期間における初任者研修や中堅教諭等資質向上研修など、実施時間や日数を弾力的に設定すること^{⇒裏面※1}。

（注）職専免研修

地域住民、保護者等から十分な理解が得られるものであるかについて、所属長である校長がその権限と責任において、適切に判断して行うこと。

③ 部活動

⇒ 部活動指導員や外部人材の積極的な参画を図る。「ガイドライン」を踏まえ、学期に準じた扱いとして週当たり2日以上以上の休養日の設定等を行う。

④ 学習活動

⇒ 休業期間中の授業、補習、総合学習等を設定する固有の意味や効果、必要性の検討。

（裏面：学校閉庁日に関する事、長期休業日に関する事例紹介）

学校閉庁日の実施について

学校閉庁日の設定は、学校の状況を踏まえて柔軟に対応できる取組みの一つです。

なお、学校閉庁日の効果的な実施にあたっては、右記の点などにご留意ください。

- ① 保護者に対して、学校閉庁日を設定する趣旨や緊急時の連絡方法を周知する。
- ② 緊急時の対応態勢を確認する。
- ③ 教師が夏季特休や年休を取得しやすい環境作りに努める。
- ④ 教育委員会、市町村等は、主催の会議や研修会等を行わないなどの配慮をする^{※1参照}。

※1：以下の通知をご参照ください。

- ・平成31年1月22日付【教職第588号】
「学校における働き方改革」の夏季休業中における取組みについて（通知）
- ・令和元年7月5日付【教職第211号】
学校における働き方改革の推進に向けた夏季等の長期休業期間における学校の業務の適正化等について（通知）

事例紹介

「学校における働き方改革の取組み手引【改訂版】（平成31年1月）」より

夏季等の長期休業期間の業務見直しに関するもの

<事例5-302>

原則、8月13日から8月15日の期間を部活動等すべての教育活動を休みとする学校閉庁日とした。また、昨年度12月29日から1月3日の6日間を学校閉鎖日とした。

<事例5-308>

7月に職員室黒板に「夏季休暇6日間完全取得」及び教頭が考えたスローガン「持続可能な働き方」の表示を掲示した。このように夏季休暇の取得を呼びかけることにより、超過勤務の削減を図った。

<事例2-602>

休日・夜間等の緊急連絡は、学校の代表メールに送っていただくように保護者等にお願いし、学校代表から管理職の携帯電話にメールが転送されるよう設定している。必要に応じて、担任等に連絡し対応している。

<手引事例2-503>（手引p70）

- ① 夏季休業中の閉庁を3日間から5日間に増やした。
- ② その間に行っていたプール管理の仕事を、プールを空にすることによって省略することにより、閉庁中の勤務を減らすことができた。ただし、消防署へ連絡が必要。

通信発行後、さまざまなお意見やご感想をいただき、ありがとうございます。今後も、先生方のご意見を反映した“どだなだ”となるようにしていきたいと考えていますので、さまざまな情報をお寄せください。